

長谷山だより

令和元年10月18日発行
碓井中学校通信10月号
文責 校長 藤井 隆昭

文化の秋、人権文化発表会に向けて

10月に入って、秋雨とともに気温が下がってきています。ブレザーを着用している生徒も増え、秋の深まりが感じられます。急に寒くなったので、風邪を引くなど、体調を崩す生徒もいるようです。服装で体温調節をする等、自分で体調管理をしてください。

9月の中間考査から1ヶ月、各教科の結果は、御家庭に届いているでしょうか？この間、帰りの会の時間を使って、試験前はチャレンジタイム、試験後はフォローアップタイムという、学習の機会を設定しました。大切な事は、間違っただ箇所を確実に解き直しをしてください。特に、3年生には、2学期の二つの定期考査はとても大切な試験です。ここで、確実なものにして欲しいものです。

学校では、来週21日の人権文化発表会、全体テーマ『人権と自分との関わりを考え（学び）、学んだことを「思い」として伝えよう（発信）』のもと、各学年のテーマに沿って、外部から講師を招いて話を聞いたり、聞き取りや調べ学習をしたり、実際に体験をしたりと、様々な形で人権意識を深めながら学習を進めています。生徒たちの姿を見に来てください。

開始は13時45分です。学年のテーマは、以下の通りです。

【第1学年】社会の中の人権課題に**気づく**

【第2学年】身近な地域の人々の姿を**知る**

【第3学年】将来の展望に立ち、人権のものさしを**つくる**



10月・11月の主な行事予定

日・曜	行 事	日・曜	行 事
10月20日(日)	中体連嘉飯女子バレー大会	11月 1日(金)	校内球技大会⑤⑥校時
21日(月)	人権文化発表会⑤⑥校時 ※開会13:45~	4日(月)	振替休日(11/3)
22日(火)	即位の礼	6日(水)~14日(木)	部活動停止期間
23日(水)	球技大会練習①1・3年生	7日(木)	進路保護者会(3年)
24日(木)	球技大会練習②2・1年生	9日(土)10日(日)	嘉麻市ふれあい祭り
25日(金)	球技大会練習③3・2年生	13日(水)~15日(金)	2学期期末考査
27日(日)	中体連嘉飯男子バレー大会	16日(土)	ウォークラリー大会
28日(月)	球技大会練習④1・3年生	18日(月)	振替休日(11/16)
29日(火)	球技大会練習⑤2・1年生	21日(木)	研究発表会の為、給食後放課
30日(水)	球技大会練習⑥3・2年生	22日(金)~24日(日)	中文連美術・文化作品展
31日(木)	球技大会練習⑦1・2年生		

織田廣喜美術館に行ってみよう！

芸術の秋、実りの秋、言葉のようにじっくり秋を感じるのに良い時期となりました。昨年度より美術部が中心となって、作品展のボランティアで織田廣喜美術館に行く機会が幾度かありました。ボランティアに同行する中で、「何か美術館と連携できることはないだろうか？」と、その内容ばかりが気になっていました。今年度も筑豊地区中学校の文化連盟の担当校長として、県内各所の諸会議に出席をしてみたいです。その中で、まず校区にある文化施設（美術館等）に出向き、様々な行事を生徒・保護者の皆様に紹介していくことの大事さを改めて考えさせられました。

織田美術館は、1996年5月に複合文化施設「碓井文化館」の一施設として開館しました。以下案内パンフより～日本芸術院会員、二科会名誉理事長を務めた嘉麻市出身の洋画家、織田廣喜の作品を常設展示する美術館です。個性ある4つの常設展示室と1つの企画展示室から構成されています。アトリエに残された貴重な未完成作品やアトリエの扉などの遺品を収蔵、織田廣喜の魅力を様々な角度からご覧いただけ、どこよりも織田廣喜の芸術活動を体験することができます。

□開館時間

9:30~17:30 (入館は17:00まで)

□休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は、その直後の平日)

年末年始休館日(12月28日~1月4日)

館内整理特別休館日

※第15回筑豊地区中学校文化連盟「美術・文化作品展」案内

開催期間 令和元年11月22日(金)~24日(日)

開館時間 上記のとおり(24日は、入館14:30まで)

○本校美術部も出展します。

○入場無料です

全国学力学習状況調査の結果から(裏面)

※今年4月に実施された試験の結果を載せております。現3年生は、日頃の家庭学習の成果もあり、入学時からの成績は上昇傾向にあり、安定感もあります。この傾向を継続して、入試に備えて欲しいものです。

本校の現状として、「学びに向かう姿勢」が高まり、友だちや先生に分からないことを積極的に質問したり、始業前や放課後に教材を持って、「教えてください」と声をかけてくる生徒が多くなってきました。反面、教科書やプリント類を忘れたり、課題の提出ができていない生徒も見られます。2学期の中盤に入り、教科によっては、授業に集中できずに、注意を受けている教科もあるようです。木曜日に「学力保障委員会」という会議で、生徒の様子を交流し、学習指導の徹底を図っています。

学校全体で、次の内容で取り組んでいきます。

○授業始業時の教材準備の徹底(身づくり)

○学年集会での授業態度の徹底

○班長会議などで授業態度を見直す機会設定

○チャレンジタイム(テスト前に行う重点徹底)

○フォローアップタイム(テスト後に行う要点確認)

1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

【短期指標】

○全国を100とした標準化得点で、【国語98.0以上】【数学96.0以上】を目標とする。

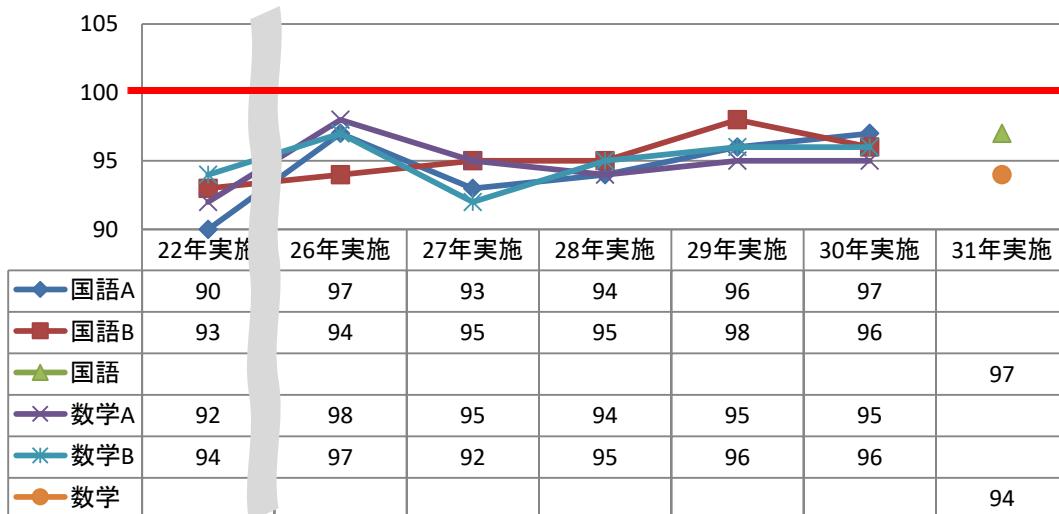
3.指標に向けての取組

- 定期考査前後のチャレンジタイム、フォローアップタイムを行い、基礎・基本の定着を図る。
- 自学ノートと課題プリント(曜日による教科1枚)を徹底し、家庭学習の定着を図る。
- 定期考査において、授業で学習した活用力を問う問題を出題する。
- 書く活動を積極的に取り入れ、見通しを持たせる授業づくりをする。
- 分割授業や個に応じた支援により、下位層の底上げを図る。

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	数学
本校	97	94
嘉麻市	97	95
全国	100	100

推移



※ 平成31年度実施から「知識に関する問題(A問題)」と「活用に関する問題(B問題)」を一体的に問う形式に変更

5.各学校における分析

- 定期考査前後のチャレンジタイムやフォローアップタイムの定着が進み、分からないことを友達や先生に質問する生徒が増えてきた。
- 自学ノートや家庭学習の質が向上し、平素の授業や学びに対する意識も高まっている。
- 定期考査において思考力・判断力・表現力を問う問題を出題したり、書く活動を取り入れ見通しを持たせたりする授業づくりをしてきたが、記述問題の無回答率が高く、解答の質も低かった。
- 分割授業や個に応じた支援により、下位層の底上げを図ってきたが、下位層の得点率が低く、上位層の割合が少ない。

6.各学校における今後の取組

- 習熟の程度に応じた指導や発展的な学習、補足的な学習等、学力実態の分析に基づいた個に応じた指導の充実とりわけ習熟度別分割授業を取り入れる。
- 基礎・基本の定着を図るために、定期考査前後のチャレンジタイム、フォローアップタイムを効率的に行う。
- 入試問題の傾向を分析し、活用力を問う授業づくりをし、定期考査でも積極的に出題する。
- 深い学びにつながるように、書く活動や交流活動を積極的に取り入れる。
- 家庭学習においても、知識問題と活用力を問う問題の双方を実施する。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- 各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。
- 学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるためのPDCAサイクルについて指導助言を行う。
- 学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。
- 「思考力・表現力等を問う」定期考査の実施や授業評価の取組に対する指導助言を行う。
- 校内研修や学校訪問において、思考力を発揮させ最善解を導き出す「かく力」を育成するための指導助言を行う。
- 学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導助言を行う。
- 家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての指導助言や支援を行う。
- 主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。